



平成 21 年 10 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社 ブロッコリー  
代表者名 代表取締役社長 上田 陽史  
(JASDAQ コード 2 7 0 6 )  
問合せ先 取締役管理本部長 渡邊 朋浩  
(TEL 03 - 5946 - 2824 )

### 平成 22 年 2 月期第 2 四半期累計期間（連結・個別）業績予想との差異及び 通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ

平成22年2月期（平成21年3月1日～平成22年2月28日）の業績について、平成21年4月30日付当社「平成21年2月期決算短信」にて発表いたしました業績予想との間に差異及び通期業績予想の修正が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 22 年 2 月期 連結業績予想との差異及び修正

##### (1) 第 2 四半期連結累計期間（平成 21 年 3 月 1 日～平成 21 年 8 月 31 日）

(金額の単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回予想 (A)	5,053	5	1	△9	△0 円 28 銭
今回修正 (B)	4,738	△190	△180	△188	△5 円 78 銭
増減額 (B-A)	△315	△195	△181	△179	—
増 減 率 (%)	△6.2	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	4,835	△314	△312	△425	△13 円 01 銭

##### (2) 差異理由

売上高につきましては、リテール部門におきまして、8月21日に津田沼店を新規出店いたしました。主力店舗が想定した売上高を確保できず、売上高3,197百万円（前回予想比：△111百万円）となったこと、通信販売部門におきましては、PCソフト商材における牽引タイトルの不足などにより、売上高179百万円（前回予想比：△71百万円）となったこと、エンターテインメント部門におきまして自社製品の発売延期などにより1,356百万円（前回予想比：△134百万円）と予想を下回ったことにより、全社売上高は4,738百万円（前回予想比：△315百万円）となりました。

営業利益につきましては、想定を上回るたな卸資産の評価損などにより、売上総利益が減少したことが主な要因となります。販売費及び一般管理費の削減（前回予想比：△62百万円）は順調に進んでおりましたが、上記の影響により、遺憾ながら営業利益は△190百万円（前回予想比：△195百万円）となりました。

ました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益につきましては、△188百万円（前回予想比：△179百万円）となりました。

(3) 通期（平成21年3月1日～平成22年2月28日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想（A）	10,737	110	102	80	2円45銭
今回修正（B）	9,985	△191	△186	△205	△6円27銭
増減額（B－A）	△752	△301	△288	△285	—
増減率（%）	△7.0	—	—	—	—
（ご参考） 前期実績	9,713	△448	△493	△838	△25円62銭

(4) 修正理由

第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、リテール部門の下期売上計画を見直したことなどにより、売上高につきましては9,985百万円（前年予想比：△752百万円）、営業利益は△191百万円（前回予想比：△301百万円）、経常利益は△186百万円（前回予想比：△288百万円）、当期純利益は△205百万円（前回予想比：△285百万円）となる見込みとなりました。

2. 平成22年2月期 個別業績予想との差異及び修正

(1) 第2四半期累計期間（平成21年3月1日～平成21年8月31日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想（A）	5,049	5	1	△9	△0円28銭
今回修正（B）	4,733	△192	△194	△193	△5円90銭
増減額（B－A）	△316	△197	△195	△184	—
増減率（%）	△6.3	—	—	—	—
（ご参考） 前期実績	4,786	△280	△270	△349	△10円69銭

(2) 差異理由

売上高につきましては、リテール部門におきまして、8月21日に津田沼店を新規出店いたしました。主力店舗が想定した売上高を確保できず、売上高3,197百万円（前回予想比：△111百万円）となったこと、通信販売部門におきましては、PCソフト商材における牽引タイトルの不足などにより、売上高179百万円（前回予想比：△71百万円）となったこと、エンターテインメント部門におきまして自社製品の発売延期などにより1,356百万円（前回予想比：△134百万円）と予想を下回ったことにより、全社売上高は4,733百万円（前回予想比：△316百万円）となりました。

営業利益につきましては、想定を上回るたな卸資産の評価損などにより、売上総利益が減少したことが主な要因となります。販売費及び一般管理費の削減（前回予想比：△62 百万円）は順調に進んでおりましたが、上記の影響により、遺憾ながら営業利益は△192 百万円（前回予想比：△197 百万円）となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の四半期純利益につきましては、△193 百万円（前回予想比：△184 百万円）となりました。

(3) 通期（平成 21 年 3 月 1 日～平成 22 年 2 月 28 日）

（金額の単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回予想 (A)	10,734	111	103	80	2 円 45 銭
今回修正 (B)	9,979	△193	△199	△210	△6 円 27 銭
増減額 (B - A)	△755	△304	△302	△290	—
増 減 率 (%)	△7.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績	9,616	△400	△391	△743	△25 円 55 銭

(4) 修正理由

第2四半期累計期間の業績を踏まえ、リテール部門の下期売上計画を見直したことなどにより、売上高につきましては 9,979 百万円（前年予想比：△755 百万円）、営業利益は△193 百万円（前回予想比：△304 百万円）、経常利益は△199 百万円（前回予想比：△302 百万円）、当期純利益は△210 百万円（前回予想比：△290 百万円）となる見込みとなりました。

以 上